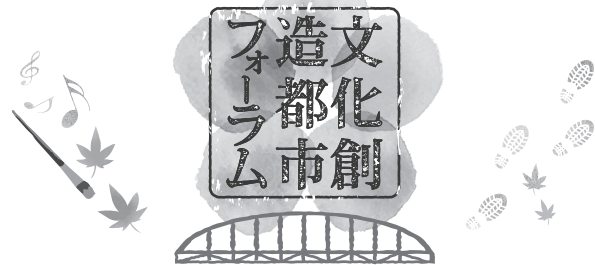


“文化芸術による街づくり”ってなんだろう



平成28年9月21日[水]
18:30 ≧ 21:00

盛岡市が策定を検討している「文化芸術振興ビジョンづくり」を市と市民、文化芸術関係者の協働で推進するため、市長が提唱する「文化創造都市」の理念を学ぶとともに、現在、盛岡市が抱える文化芸術の現状と課題を明らかにしようという試みです。

【第一部】基調講演「文化創造都市・盛岡に向けて」
講師：佐々木雅幸氏

【第二部】パネディスカッション「盛岡の文化芸術を考える」
パネラー：田口友善氏、木村敦子氏、他

【会場】もりおか町家物語館浜藤ホール



【問合せ・参加申込み】
いわてアートサポートセンター
TEL 019-604-9020
FAX 019-604-9021
✉ kaze@iwate-arts.jp

【主催】文化創造都市推進市民会議
【共催】盛岡市、NPO 法人いわてアートサポートセンター

講師・佐々木 雅幸氏
同志社大学教授。大阪市立大学名誉教授。名古屋生まれ。文化経済学、都市経済学を専攻し、アジアにおける創造都市研究の第一人者。文化庁文化芸術創造都市振興室長や創造都市ネットワーク日本の顧問を務めるなど、全国の創造都市を推進する政策支援活動も行っている。著者に『創造都市への挑戦』（岩波現代文庫）など。

主催事業

いわて震災詩歌 2017 作品募集のお知らせ

あの東日本大震災から 5 年半。被災地では、明日の希望に向けた着実な歩みが続いています。いわてアートサポートセンターでは、被災した方々や、被災地に寄り添う方々から、その思いが凝縮した詩を募集します。お寄せいただいた作品は、選考を経た上で、何篇かを詩集「いわて震災詩歌」として発行します。

【応募方法】

応募点数は 1 人 3 編以内とし、1 編が 400 字原稿用紙 4 枚以内。ワープロ原稿も可。作品は未発表のものに限る。応募原稿は返却しません。作品には「題名」「住所」「電話番号」「氏名」「年齢」「学校名又は職業」を明記の上、いわてアートサポートセンターまで郵送のこと。

【応募資格】岩手出身の方、又は岩手在住の方。
※その他詳細についてはお問合せください。



いわてアートサポートセンター

鉤屋町界限イベント情報



9/10 土

『町家とお八幡さん —め組蔵出し展』

9月の盛岡まち並み塾定例イベントは、秋祭りの開催に合わせ鉤屋町消防第二分団「め組」の貴重な品の一部を展示いたします。

【日 時】 9月10日(土) 10:00～13:00

【会 場】 大慈清水お休み処

【問合せ】 盛岡まち並み塾事務局 TEL019-622-8989
(盛岡市鉤屋町 3-15 大慈清水お休み処)



発行者

特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター

【事務局／風のスタジオ・風のアトリエ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp

URL http://iwate-arts.jp

【窓口営業時間】 13:00～19:00(平日)

【施設利用可能時間】 9:30～21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町 10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp

URL http://machiya.iwate-arts.jp

【開館時間】 9:00～19:00(入館は 18:30 まで)

※浜藤ホールのみ、利用時は 21:30 まで

【休 館 日】 毎月第 4 火曜(休日の場合はその翌日)

年未年始：12/29～1/3

【入 館 料】 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい！

いわてアートサポートセンター窓口と、もりおか町家物語館母屋案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料 5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりします。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信

9月号



もりおか町家物語館キャラクター モリオとマチコ





9/3 ▶ 10/10
土 土

主催事業

盛岡町家+ART イベント

MACHIYART2016

「アーティスト達とのワークショップ」

「いわてアートプロジェクト2016」と連携して、7人の現代アーティストによるリレー形式のワークショップをおこないます。趣ある町家で、アーティストとふれあい、作品作りを体験できます。

【日 時】 全日 14:00～15:30 (13:30開場)

【会 場】 もりおか町家物語館 母屋2階座敷

【参加費】 500円 (当日お持ちください。)

【定 員】 各日 15名

〈日程〉

- 3(土) Voices From Japan - 日本からの声を伝える - 辻本勇夫 (文化交流工房代表)
- 4(日) 聖なるものをつながる Chie (画家)
- 5(月) マンガを描いてみよう! 川口まどか (漫画家)
- 6(火) 絵遊び そのだつくし (漫画家)
- 8(木) 触って感じて理解する 田上たか (イラストレーター)
- 9(金) 布パッチを作ろう さいとうゆきこ (イラストレーター)
- 10(土) 人相書き講座 長友心平 (アーティスト)

〈申込方法〉

いわてアートプロジェクト事務局 (岩手未来機構)

メール iwatemiraikiko@lime.ocn.ne.jp

またはお電話 019-613-7781 (平日 9:00-17:00) にて

①ご希望の講座 ②お名前 ③連絡先をお知らせください。

事業報告

町家のお化け屋敷～昭和のおばけ大集合～

7月29日(金)～8月16日(火)の期間、町家のお化け屋敷が開催されました。昨年に続き2回目となる今回は、コックリさんにツチノコさん、トイレの花子さん(本物の!?)口さけ女さん、昭和のお化け界のスター達が、町家に駆けつけてくれました。懐かしいねと言ってくれた昭和生まれのお父さん、怖いと泣いた平成生まれの僕。「怖かったけど面白かった。」「びっくりした。また来たい。」など、たくさんのお話をいただきました。楽しい夏の思い出になってくれたかな?

また、関連イベントとして8月11日(木・祝)には「町家怪談～大塚富夫の町家スタジオ～」が浜藤ホールにて行われました。大塚富夫アナウンサーによる怪談話の朗読をラジオ番組風にお届けしました。ゾッとするお話にみなさん聞き入っていました。大塚アナウン

サーのフリートークで、会場は終始アットホームな雰囲気でした。最後は、お化け達も会場に遊びに来てくれたようです…。

夏の風物詩「町家のお化け屋敷」。今回もたくさんのお来場、誠にありがとうございました。スタッフ一同、お化け一同、感謝申し上げます。

町家のお化け屋敷
～昭和のおばけ大集合～



町家怪談
～大塚富夫の町家スタジオ～



カフェDOMAからのお知らせ

よろこびの鳥たち 木部一樹展

2016年9月1日(木)～9月30日(金)

木部一樹・Kibe Kazuki プロフィール

1956年青森市生まれ。主に鳥を描く自然派の画家。各地のギャラリーで個展を開催するかたわら、雑誌や本・図鑑などに図版・さし絵を提供。東奥日報紙に「鳥が教えてくれた」などのエッセイを連載。日本野鳥の会・野鳥誌の連載中巻頭エッセイのさし絵を担当。著書 画文集「鳥の画帳」東京新聞出版局 共著 日本野鳥紀行 第2巻 東北関東の鳥 小学館 図鑑NEO「鳥」アジアの鳥を担当 小学館 他、図版提供多数

「よろこびのかたち」



もりおか お酒の学校～ワイン編～ ■後期■ ブドウ品種の魅力を探る (赤)

【講師】ワイン・コーディネーター 福井富士子氏

【日時】9月24日、10月22日、11月26日
全日土曜日 17:30～ (要申込)

【受講料】全3回 10,000円、1回のみ 4,000円

【問合せ・申込み】もりおか町家物語館

カフェDOMA

営業時間 11:00～16:00

《毎週火曜日はお休みです。》

※カフェ営業時間以外でも、施設開館中は展示見学可能です。

※9月7日(水)は臨時休業です。

リレーコラム No.5

『帰ってきたカメラマン』

初めまして、私は東京で映画、CF、ミュージックビデオなどを撮影している盛岡出身のムービーカメラマンです。3年ほど前から盛岡と東京を行ったり来たり生活を始めました。両親の手伝いなどの合間に岩手の風景映像を自主制作していたのですが、口コミで撮影の依頼が少しずつ来るようになり、いわてアートサポートセンター関係では音楽劇「あの頃僕はバンドマンだった」のスチール&ビデオ、今年春の演劇公演「残花」のTV-CFとビデオの撮影などに関わらせてもらいました。

盛岡は映画館が充実していますね。スクリーン数だったら私の子供時代の映画全盛期より多いのでは。縁あって、今年私は会津若松市の人材育成プロジェクトに参加して中学生の映画製作を手伝っています。脚本作りから完成まで全てを市内の中学生たちが行います。夏休み中に本番撮影。猛暑の中でも目を輝かせて映画撮影のノウハウをどんどん吸収していく中学生たちとの映画作りは私にとっても貴重な経験になりました。11月には完成して市内の一番大きなホールで市民にお披露目上映会をします。ちなみに会津若松市に映画館は一軒もありません。

近年、映画機材のデジタル化という大変革もあって、全国的に地方発の映画作りの機運が高まってきています。私も昨年、新潟発の映画を撮影しました。少ない予算の中でもスタッフ、キャストの志は高く充実した内容だったのですが、ほとんど寝られないきびしい現場だったのも事実です。低予算に輪をかけて、中央との距離というハンディキャップによる撮影機材やスタッフの人材の不足等々、考えてみると地方発映画の問題点は山積みです。しかし創りたい人々がアイデアを出し合い、よく練られた脚本、地元だからこそその工夫や時間の使い方を駆使して、よりレベルの高い地方発の映画を作れないものだろうか。地元発の映画作りや中学生とのプロジェクト。こんなことが岩手でもできないか、などと夢想している今日この頃です。

あっ、それから今年4月1日をもって盛岡市民に戻りました。新参者ですが、どうぞお見知りおきを。

カメラマン 千葉真一

9/24
土

『盛岡芸妓 お座敷体験講座』

～もりおか町家で盛岡芸妓とお座敷遊び～
平成28年11月26日まで
毎月第4土曜日開催!



★9月開催

【日 時】 9月24日(土) 14:00～15:00 (受付開始 13:30)

【場 所】 もりおか町家物語館・母屋2階座敷

【参加費】 3,240円 (茶菓付)

【定 員】 20名

【申込締切】 9月22日(木) 17:00まで

【問合せ】 盛岡観光コンベンション協会 TEL: 019-621-8800